

## ライブセルイメージングの多様性と データ解析手法の紹介

ライブセルイメージングとイメージサイトメトリーを融合し  
より客観的な評価を可能にします

日時:平成27年10月29日(木)16:00-17:00

場所:佐賀大学医学部 院生研究棟2階 2260室 セミナー室

蛍光顕微鏡下で細胞観察・画像取得・画像解析を自動化した手法であるイメージサイトメトリーは、細胞個々の評価を行う上で必須のツールになりました。一方で、生きたままの状態を観察するライブセルイメージングは、以前の熟練した技術を要した装置から、ようやくだれでも簡単にデータを取得できる装置になってきました。

この二つを組み合わせたものが今回お話しさせていただく、ライブセルイメージサイトメトリーです。これは培養環境下で連続的に観察を行い、これまでどおりの画像解析の手法を用いて数値化を行います。このため、細胞個々の経時的な変化を解析がすることができ、これまで見逃していた動きなどの特徴的な反応を評価することが可能になります。

今回はCV1000を使用した長時間ライブセル観察、CV7000のディスペンサーを使用した細胞内カルシウム、新製品のCQ1を用いた3次元立体構築を行ったスフェロイド解析などのデータをお示しする予定です。

皆様の貴重なお時間をいただきますが、ぜひ皆様の研究のヒントにしていだければと思います。



Cell  
Voyager  
CV1000

CQ1



Cell  
Voyager  
CV7000



横河電機株式会社 ライフサイエンスセンター  
営業担当 富田、松原  
TEL : 076 - 258 - 7028



総合分析実験センター 機器分析部門  
森 (2404 / PHS 3969)